



# くぎかいだより

NO. 219  
発行/北区議会  
〒114-8508  
東京都北区王子本町1丁目15番22号  
TEL(3908)1111(大代表)



北区ふるさと農家体験館(赤羽西5-2-34赤羽自然観察公園内)



# 平成20年 第3回定例会

## 各会派の代表質問

平成20年第3回定例会は、9月12日に招集され、29日間の会期で10月10日に閉会しました。  
 9月12日、16日の2日間にわたり、13名の議員が、財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・一般質問を行いました。2頁〜4頁は、その質問と答弁の要旨を多数会派順に掲載しています。  
 今回、区長から提出された議案等39件、議員から提出された議案8件、請願・陳情13件を議決しました。(6頁掲載)

### 議会のうごき

8月  
 議会運営委員会  
 ・視察  
 ・新宿区議会  
 ・委員会  
 ・視察のまとめ

28日  
 防災対策特別委員会  
 ・委員会  
 ・「北区役所庁舎のあり方及び「赤羽会館」の耐震整備の方針」の中間報告について

29日  
 企画総務委員会  
 ・委員会  
 ・請願・陳情調査  
 ・過剰な農業取締法により、植物からなる農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する件

9月  
 議会運営委員会  
 ・委員会  
 ・本会議の運営についてほか

4日  
 交通環境対策特別委員会  
 ・説明会  
 ・堀船二丁目における騒音対策七法案についてほか  
 ・委員会  
 ・説明会のまとめ

12日  
 本会議  
 ・代表質問ほか

16日  
 本会議  
 ・一般質問 議案の付託ほか

### スタンプ事業の全区展開の英断を子育てパスポートの進展を見据え



自由民主党議員 小池たくみ

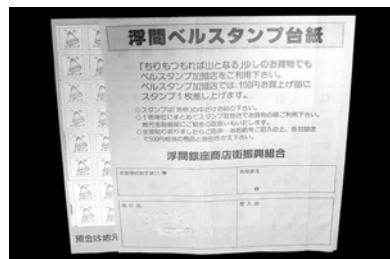
**問** スタンプ事業は持続可能な商店街運営に対応する一つのアイテムであると考えますが、区の見解は、  
**答** 提案の事業は北区商店街連合会とも今後十分に協議を進めていく。  
**問** 北区子育てで「こり」パスポート事業の目的は地域での子育て支援促進と区内商店街の活性化だが、子育て支援課と産業振興課の連携及び北商連との協議の状況は、

### 原油高騰で悩む中小零細企業対策 介護労働報酬の引き上げについて



公明党議員 小関 和幸

**問** 建設関連業者から要望が出されている単品スライド条項の速やかな適用について、適用申請の手続きはどの時点で実施されるのか。  
**答** 申請は1期内で必要な協議期間及び契約変更手続きに要する期間を確保するため、工期末の2カ月前までに行うことが原則である。  
**問** 介護従事者は厳しい労働に対し給料が極めて低く、離職率が高い。



浮間ベルスタンプ台紙

**問** 現在、北商連と子育て支援課、産業振興課による検討会を設け、事業内容の詳細を鋭意詰めている。スタンプ事業の展開には中長期展望を持ち、子育て支援を突破口に、高齢者・障害者・介護・健康等の諸政策を組込みながら、支え合いのプラットフォームとして進化させていくべき。区の見解を問う。  
**答** スタンプ事業の他分野への利用拡大も併せて検討していく。  
**問** 北商連を主体とし、既存スタンプ事業とも連携した仕組みを構築

するには行政のリーダーシップが不可欠である。予算措置は限定的なサンセット方式を採用すべき。  
**答** 事業の仕組み構築は北商連等の団体が担っていくことが望ましいと考える。提案の趣旨を踏まえ北商連とも十分に協議していきたい。  
**問** スタンプ事業は意欲的な試みである。産業活性化ビジョン行動計画や中・長期計画での位置付けは、行動計画の検討結果を踏まえ、必要に応じ、基本計画や中期計画との整合を図っていきたい。

特別区長会の動きを含め、来年の介護報酬改定に向けた動きを問う。  
**答** 特別区長会では、報酬加算率を改定し、都市部の実情に合った介護報酬にすることも、利用者への直接的な影響を抑制するための方策を講じるよう国に要望した。



王子小学校・王子中学校建設工事現場

**問** DV被害者の子育て支援・自立支援対策の進捗状況について問う。  
**答** 本年5月の国の通知により、DV被害者の児童手当受給が可能となるよう一定の改善が図られた。  
**問** 団地でも65歳以上の割合が50%を超えるなど大都市中の限界集落と言われる。公共賃貸住宅の多い北区の具体的な対策の現状を問う。  
**答** 地域包括支援センターを核に、民生委員と協力が希望した高齢者に声かけ等緩やかに見守る自立支援ネットワーク事業等を実施。

# 物価高騰から区民のくらし守れ 耐震基準下回る庁舎対策に万全を

日本共産党北区議員団

本田 正則



**問** 北区独自に実現できる応援策として、中小企業の制度融資への利子補給を拡充するとともに、返済期間の延長等手立てを講ずること

**答** 原油・資材高騰に苦しむ中小企業に対する緊急対策として、新たな融資制度を創設していく。

**問** 耐震基準を大幅に下回る区役所本庁舎の安全確保のため、必要な耐震補強の実行を緊急に求める。



印刷局東京病院とコミュニティバス

**問** 本庁舎の耐震補強は喫緊の課題で、区は最大限の努力で早期に取組むことが重要であると考える。

**答** 介護保険の第四期事業計画では給付費準備基金の保険料引下げへの活用、地域密着型サービス等の基盤整備を軌道に乗せるために必要な補助の実施や充実を求める。

**問** 区議会の意見等踏まえ、介護保険運営協議会で検討を進めていく。基盤整備は大きな課題と認識し、今後、国や都の補助制度を効果的に活用しながら取組んでいく。

**問** 区独自の福祉施策として、高齢者・障害者・低所得者の利用料減額の実施・拡充に取組むべき。

**答** 国・都の制度を活用し軽減策を実施しているが、老人保健福祉計画・介護保険事業計画を策定する中で他区の事例も参考に検討するため、区民の命と地域医療を守るため、必要な二次医療機関の確保を。

**問** 印刷局東京病院、北社会保険病院について、現行の病院体制が引き継がれるよう要望書を提出した。今後も全力を挙げて取組んでいく。

# 積極的・継続的就労支援を求める アゼリアプランの改定、充実を

民主区民クラブ

林 千春



**問** 現在の厳しい就労環境下、専管組織を立上げ、積極的・継続的就労支援を行うことを求める。

**答** 今後も、ハローワーク王子や王子労働基準監督署等との連携を強化しながら、取組んでいきたい。

**問** 区民の生活水準を守るため、雇用の労働条件等、民間委託に関する基本方針を明確にすること。

**答** 指定管理者制度や委託契約等について適切な管理料や委託料の算定を行い、法令遵守も徹底したい。

**問** アゼリアプランは計画期間を短縮し、情勢に適した取組みを進めるべき。意識実態調査を定期的に実施し、目標値を設定して進捗度を把握することが重要である。

**答** プラン改定には区民の意識意向の反映が大変重要であり、7月に調査を実施した。今後も定期的な意識意向調査の実施を考える。目標数値の設定も検討していく。

**問** 全国で中山や森保全の大切さが



赤羽自然観察公園の森

**問** 強調されている。森づくりを今後の跡地計画に反映させてはどうか。

**答** 都市環境問題の解決にも森づくりの効果は大きい。跡地利用計画策定にあたっては、みどりの創出も重要な視点と認識している。

**問** 原油・材料費等の高騰の影響実態をどう捉えているか。調査を行った上で、実態に応じた支援策を。

**答** 影響が広範囲に及ぶため、一義的には国が対策を講ずべきと考えるが、緊急性や役割分担等考慮し、必要な対策を検討していく。

# 赤羽東地区のまちづくりについて 入札制度の改善を求めて

あすか新生議員団

山中 邦彦



**問** 仮称「赤羽淵中学校」の建築を契機として、区有施設の修築・学校跡地利用を含め、赤羽東地区のまちづくりの構想を固めるべき。

**答** 防災・環境・産業振興等幅広い観点から区有施設の配置を含め総合的に検討し、安心で快適に住み続けられるまちづくりを進める。

**問** 北区の昨年の落札率は平均で93.5%。落札率の高止まりにどの



赤羽駅東口の商店街

ような改善策を考えているか。

**答** 品質確保を第一に、区内業者育成と競争性確保について一方に偏しない入札のあり方を研究したい。

**問** 落札率90%以上で談合の疑いがあり、95%以上で疑いが極めて強いという全国市民オンブズマン連絡会議の判断基準をどう捉えるか。

**答** 落札率の高さが、談合等と単純にリンクするとは考えにくく、判断基準は一つの参考と捉えている。

**問** フィルタリング普及率向上のため、保護者、教師に携帯電話が持

つ危ないインターネット遊びの実態を理解してもらった積極的対応を。

**答** 保護者会等を通じて危険性の理解を図っており、今後一層の理解、協力を求める。教員にはネットいじめ研修で対応力向上に努める。

**問** 大人には子どもを健全に育てる義務がある。モハイル・インターネット時代のネットマムの養成を。

**答** ネットマムのように、身近な大人から子ども達がネット社会の危険や対応力を学ぶことは効果的。先進自治体の例を研究していく。

議会運営委員会  
○委員会  
・議案審査  
東京都北区議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例ほか

17日

議会運営委員会

○委員会

・衆議院議員選挙に伴う管外視察の日程について

18日

健康福祉委員会

○委員会

・議案審査  
東京都北区立あすなろ福祉園の指定管理者の指定についてほか

・所管事務調査  
東京都北区介護保険条例の一部を改正する条例ほか

・請願・陳情審査  
公共施設樹木等への農業使用削減に関する件ほか

・委員の派遣について  
建設委員会

○委員会  
・所管事務調査  
財団法人北区まちづくり公社に対する助成に関する条例の一部を改正する条例ほか

・請願・陳情審査  
独立行政法人都市再生機構が2009年4月の家賃値上げを行わないことを求める意見書等提出に関する件ほか

・委員の派遣について  
区民生活委員会

○委員会  
・所管事務調査  
財団法人北区文化振興財団に対する助成に関する条例の一部を改正する条例ほか

19日

区民生活委員会

○委員会

・所管事務調査  
財団法人北区文化振興財団に対する助成に関する条例の一部を改正する条例ほか



# 一般質問

## 赤羽駅周辺の風紀について

直結給水と街路灯LED化を



自由民主党 議員 太田奈保子

**問** 赤羽駅周辺の客引き等の迷惑行為は大人でも安心・安全に対する不安を感じる。区の見解を問う。

**答** 今後とも、警察に対し取締りの更なる強化を強く要請していく。

**問** 環境への意識を醸成する観点からも、小中学校に安全でおいしい水道水の直結給水を推進すべき。

**答** 区としても、現在進めている学校改築の中で、小中学校の水飲場等の直結給水化を進めていく。

**問** 省エネ、メンテナンスの負担軽減、地域の安心・安全のためにも、商店街街路灯のLED化推進を。

**答** その効果等は指摘のとおりと注目している。商店会長会等の機会を捉え紹介しており、今後も引き続き、普及の促進に努めていく。

## 十条駅の整備とまちなつき

CO<sub>2</sub>削減について



自由民主党 議員 渡辺かつひろ

**問** 地域住民の悲願である十条駅立体化について、区長の決意を問う。

**答** 区の悲願である立体化が早期に事業化されるよう区民の協力を得ながら議会と一体となって取り組む。地球環境維持、保護のため庁舎

窓へのガラスコーティングのようなどける限りの対策が区の責務。

**問** 区施設に新エネ・省エネ資機材の計画的導入を図るとともに、区民等を対象に、導入助成事業を推進しCO<sub>2</sub>の削減に努めていく。

**答** 自然災害時に区長が必要と判断できる場合には、即座に自衛隊に派遣要請できる制度を確立すべき。

**問** 地域防災計画の修正で、都の計画と整合をとり、区長は状況に応じ直接要請できることとなった。

**答** 区としても、現在進めている学校改築の中で、小中学校の水飲場等の直結給水化を進めていく。



公明党議員 近藤 光則

**問** 災害用伝言ダイヤルの一層の周知のため、防災訓練等での体験利用を地区防災会議に協議しては。

**答** 今後発行する防災地図で紹介するほか、広報媒体や地区防災会議を活用し一層の周知を図っていく。

**問** バイク駐車場設置で成功したモデルケースがあるが、北区としても整備促進を検討してはどうか。

**答** 国の法整備の動向を踏まえ、情報収集に努め、自動二輪車の駐車対策のあり方を検討していきたい。

**問** 赤羽駅西口・東口を含む総合的な赤羽の整備事業という観点から、どのような方針で臨むのかを問う。

**答** 総合的なまちづくりの機運を高めるよう努力し、赤羽の特徴を活かしたまちづくりを推進していく。

## 社会福祉事業団

リハビリの医療と介護の連携について



公明党議員 土屋 敏

**問** 社会福祉事業団に委託している施設の区立施設としての役割と、民間施設との差別化について問う。

**答** 他施設の事業等も注視し、区立施設としての役割や区独自の事業の必要性等について検討していく。

**問** 地域包括支援センターは、地域の高齢者、家族、近隣に暮らす人の総合相談窓口とのPRが必要。

**答** 今後は、各センター職員が担当地域に積極的に足を運ぶ等、あらゆる機会を捉え情報提供に努める。

**問** 認知症高齢者グループホーム整備のため、事業者の参入を促す優遇措置が必要と考える。

**答** 都の補助制度を活用し、民間事業者の誘導に努めている。他区の制度も参考に取組みを充実したい。

## 神谷中学校の教育実践について

30人学級の実施を都に求めよ



日本共産党 北区議員 木元 良八

**問** 神谷中学校では、私立高校との連携等による土曜教室と、農業体験学習が特に高い評価を受けている。教育長に評価と所感を問う。

**答** 校長の熱い思いやリーダーシップが、取組みを推進する大きな力

となったものと高く評価している。

**問** 少人数学級だけでなく、区独自で少人数学級の取組みを始めたい。

**答** 個に応じたきめ細かな指導を行うため学力パワーアップ事業等、人数指導に積極的に取り組んでいる。成果を見守り充実には努めていく。

**問** 都に対し、一刻も早く30人学級に踏み出すよう申し入れるべき。

**答** 区の取組みは都の方針と大きく異なることはない。都への30人学級実現の働きかけは考えていない。

## 地球温暖化対策の推進を求めて

ぜん息患者の医療費助成拡大へ



日本共産党 北区議員 相楽 淑子

**問** 一北区地球温暖化対策地域推進計画を区民的な取組みに広げ、推進してゆく課題として、白熱球を電球型蛍光灯に交換する助成制度を都と推進することを求める。

**答** 電力消費量低減のための助成は計画推進に有効と認識している。

**問** 都とともに中小企業の温暖化対策を支援する施策の推進を求める。

**答** 今年度から「エコアクション21」導入への支援を実施している。

**問** みどり豊かな北区を目指して、崖線のみどりを守り、復元や創出ネットワークを広げるため区の強力なインフラチフを求めよ。

**答** 崖地のみどりは、貴重な環境資源と位置付け、適切な保全・拡充に努め、その価値をPRしていく。

## 障害者の高齢化に対する支援策を

良好な住環境形成と高さ制限導入



民主区民クラブ 佐藤 有恒

**問** 障害者の高齢化に対する福祉施策の体系をどう構築していくのか。

**答** 今まで以上に障害の重度化・複雑化に対応できる施設やサービス、人材確保が必要で、これらを踏まえ障害福祉計画を検討する。

**問** 小規模作業所等の新体系移行に伴う諸課題について方針を問う。

**答** 移行に際し運営主体の意見を聞きながら、施設整備や運営に対する補助等、必要な支援をしていく。

**問** 滝野川工丁目の超高層マンション計画に対し、良好な住環境形成と調和のとれた沿道型中高層建築として一定の高さ制限を行うべき。

**答** 区としては、地域特性を踏まえ、周辺への配慮がなされた開発計画を事業者が申し入れていく。

## 非正規職員への対策強化を

生活保護の相談に立会人を



新社会党 議員 福田 実

**問** 区役所非勤働職員について、経験年数を加味して報酬を上げ、職員に見合った処遇にしてはどうか。

**答** 雇用の継続を前提とするもので地方公務員法の趣旨に反する。ただし、役割に着目して職層を設け、異なる報酬とするとは法の趣旨に反するとは言えないと考える。

**問** 本人希望で生活保護申請に立会人を同行できることの周知徹底を。

**答** 本人の承諾や申出があった場合には関係者の立会いを認めている。今後も誠実かつ適切な対応を行う。

**問** ニート・フリーターが同じ境遇の人と自由に相互交流できるため、居場所が必要と考える。

**答** 場所の確保に向け、赤羽しごとコーナー内集会所活用等検討する。

## 用語解説

※ネットママ(本文3頁)

子どもをネットの有害情報から守る市民インストラクター

・請願・陳情審査

消費者行政の体制・人員・予算の抜本的拡充を求める件ほか

・委員の派遣について

・所管事務調査

・請願・陳情審査

・委員の派遣について

・請願・陳情審査

・委員の派遣について

・請願・陳情審査

・委員の派遣について

・請願・陳情審査

・委員の派遣について

・請願・陳情審査

・委員の派遣について

・請願・陳情審査

・委員の派遣について

# 区長提出の議案等

- 平成19年度東京都北区一般会計歳入歳出決算の認定について (賛成多数)
- 平成19年度東京都北区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について (賛成多数)
- 平成19年度東京都北区用地特別会計歳入歳出決算の認定について (賛成多数)
- 平成19年度東京都北区中小企業従業員退職金等共済事業会計歳入歳出決算の認定について (賛成多数)
- 平成19年度東京都北区老人保健会計歳入歳出決算の認定について (賛成多数)
- 平成19年度東京都北区介護保険会計歳入歳出決算の認定について (賛成多数)
- 東京都市特別区税条例の一部を改正する条例 (賛成多数)
- 東京都北区地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 (賛成多数)
- (仮称)赤羽目衛跡跡地公園整備工事 (その1) 請負契約 (賛成多数)
- 桐ヶ丘中学校新築電気設備工事請負契約 (賛成多数)
- 桐ヶ丘中学校新築空調設備工事請負契約 (賛成多数)
- 王子小学校及び王子校中学校新築工事請負契約の一部を変更する契約 (賛成多数)
- 王子小学校及び王子校中学校新築給排水衛生設備工事請負契約の一部を変更する契約 (賛成多数)
- 王子小学校及び王子校中学校新築空調設備工事請負契約の一部を変更する契約 (賛成多数)
- 西浮間小学校新築工事請負契約の一部を変更する契約 (賛成多数)
- 東京都北区立あすなろ福祉園の指定管理者の指定について (賛成多数)
- 東京都北区立十条台児童館の指定管理者の指定について (賛成多数)
- 東京都北区立西ヶ丘原東児童館の指定管理者の指定について (賛成多数)
- 東京都北区立王子授産場等の指定管理者の指定について (賛成多数)
- 東京都北区立滝野川老人いこいの家等の指定管理者の指定について (賛成多数)
- 東京都北区立浮間ハイマートの指定管理者の指定について (賛成多数)
- 東京都北区立滝野川東テイクホーム等の指定管理者の指定について (賛成多数)
- 平成20年度東京都北区一般会計補正予算 (第2号) (賛成多数)
- 平成20年度東京都北区国民健康保険事業会計補正予算 (第1号) (賛成多数)

# 議員提出の議案

- 平成20年度東京都北区介護保険会計補正予算 (第1号) (賛成多数)
- 平成20年度東京都北区後期高齢者医療会計補正予算 (第1号) (賛成多数)
- 地方消費者行政の拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を求める意見書 (賛成多数)
- 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書 (賛成多数)
- 独立行政法人都市再生機構法案に対する附帯決議の実行を求める意見書 (賛成多数)
- 協同労働の協同組合法(仮称)の早期制定を求める意見書 (賛成多数)
- ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)関連疾患に関する意見書 (賛成多数)
- 介護保険の改定に関する意見書 (賛成多数)
- 都市部住宅密集地域における地上デジタル化対応に関する意見書 (賛成多数)
- 捜査における取り調べの適正化と可視化を求める意見書 (賛成多数)
- 東京電子自治体共同運営サービスにおける入札参加資格申請の代理申請システム構築及び行政書士用電子証明書を使用可能なシステムの改築に関する件 請20・1
- 公共施設等への農業使用削減に関する件 陳20・14
- ▽趣旨に沿うよう努力すること
- 公共施設等内での殺虫剤等の使用に関する件 陳20・15
- ▽趣旨に沿うよう努力すること
- 国立印刷局東京病院の医療機能の存続を求める件 陳20・18
- 独立行政法人都市再生機構が2009年4月の家賃値上げを行わないことを求める意見書提出に関する件 陳20・19
- 消費者行政の体制・人員・予算の抜本的拡充を求める件 陳20・20
- ▽趣旨に沿うよう努力すること
- 地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書提出に関する件 陳20・21
- 明校中学校改築工事に関する件 陳20・28
- ※理由は願意に沿い難いため
- なお、その他の陳情は継続審査となりました。

# 結果の出た 請願・陳情

- ▽意見書については趣旨に沿うこと
- 東京メトロ南北線王子駅サンスクエリアへのエスカレーター設置に関する件 陳20・24
- ▽趣旨に沿うよう努力すること
- 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する件 陳20・26
- ▽は、採択された陳情に付された意見
- 不採択となったもの
- 南大橋をバリアフリーにするためのエレベーター設置に関する件 陳20・10
- 過剰な農業取締法により、植物からなる農業用有機質材を締め出す不法人行政指導の改善を求める意見書提出に関する件 陳20・13
- 大の鳴き声による騒音を厳しく取り締まる条例の制定等に関する件 陳20・16

## 態度の分かれた案件

議案名	議員名						
	新社会党	北區・区民クラブ	あすか新生議員団	民主区民クラブ	日本共産党	公明党	自由民主党
平成19年度東京都北区一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度東京都北区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度東京都北区介護保険会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
東京都北区特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
東京都北区立あすなろ福祉園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○
東京都北区立十条台児童館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○
東京都北区立西ヶ丘原東児童館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度東京都北区介護保険会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○
介護保険の改定に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○
捜査における取り調べの適正化と可視化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○

※採決時は、議長(自由民主党議員団)を除きます。 ○賛成 ×反対 ▲退場

25日	決算特別委員会 ○委員会 ・総括質疑、議案費
26日	決算特別委員会 ○委員会 ・総務費、公債費、諸支出金、予備費
30日	決算特別委員会 ○委員会 ・福祉費、衛生費
10月	10月
1日	決算特別委員会 ○委員会 ・環境費、産業経済費、土木費
3日	決算特別委員会 ○委員会 ・教育費
6日	決算特別委員会 ○委員会 ・一般会計歳入、各特別会計歳入歳出
7日	決算特別委員会 ○委員会 ・補正質疑、討論、採決
9日	議会運営委員会 ○委員会 ・本会議の運営についてほか
10日	本会議 ○議案の議決ほか 議会運営委員会 ○委員会 ・第4回定例会の日程についてほか



### 平成19年度決算を認定しました

平成20年第3回定例会において、平成19年度決算を審査する特別委員会を開会し、各会派が決算に対する態度を表明しました。ここでは、その要旨をお伝えします。  
なお、決算に対する態度の分かれたものについては、前頁の「態度の分かれた案件」をご覧ください。

### 自由民主党議員団

平成19年度は、国の経済に回復基調が見られるものの、安定した持続性のある上昇経済とはいえない中であり、都においても、都税収入は一定の伸びがあり、安定したとは言えないが、財政の上昇化が見られた年である。  
そのような経済、各税収状況での区の19年度決算全般で評価すると、区側の総括にあるように、柔軟で強靱な財政体質づくりのための改革を進める一方、各事業において着実な成果を取ったと、高く評価する。  
しかし、今後の経済状態や税収状況、都との財源問題等予測すると、決して楽観してはいられない。

### 公明党議員団

平成19年度一般会計及び特別会計決算は、公明党が求めてきた子育て支援や高齢者施策等に重点が置かれ、特に「区民とともに」推進事業の具体的な施策をはじめ、「子育てするなら北区が一番」となる「子育て応援団事業」の確立、「安全安心快進戦略」では「地域安心・安心パトロール事業」の拡充をはじめ、区民の安全を守る各種の事業が推進された。教育改革では「はじめ対策」学力アッププログラム事業、「2学期制導入」や校舎の冷房化等、積極的に幅広く取り組んでいる点を高く評価する。

以下の課題要望については、表現に向け、なお一層の努力を求める。  
一、「北区経済成長プラン」に沿って事務事業の外部化の推進や行財政システムの改革に取組むこと。  
一、特に高止まりの課税と言われる

### 日本共産党北区議員団

区民の暮らしを最優先し、貧困や格差に苦しむ区民の生活を応援する自治体の責務を果たすよう、区民要望をもとに新年度及び補正予算案を議論し、平成19年度に区に求め続けてきた。平成19年度に一部は実現したが、次の点を指摘する。  
第二は、区長の区民の現状認識について、これまでになく格差が拡大しているにもかかわらず区民を応援するところなく、貧困や格差の認識が欠けており、区民の目線が大きくずれていることである。第一は、北区経営改革プランは経費削減のみが先行し、指管理者導入・外部化を急ぎすぎ、公共の責任・役割・サービスの内容が公が公が公にしている。指管理の下で働く人々の低賃金化等雇用ワーキングアパがつけられつつあることは認められない。第三は、介護認定における区独自基準の設定をシロ引き下げは撤回されず、ケアマネジャーの認定委員会

### 民主区民クラブ

「区民とともに」を基本姿勢とし、4つの重点戦略に沿った施策の展開が図られたことは評価する。区民のくらし向き思いを踏った施策の展開と、以下の点の改善を求める。  
①指管理者制度は発注過程の透明化を図ること。②介護認定のあり方を見直し保険料引下げ等介護保険の多額の基金の区民への還元とともに、国に対し、介護報酬引上げを更に強く求めること。③区民とともに「協働の精神」のもと、理事者を先頭に区民の中に積極的に入っていくこと。④分科会の進展に伴い、官民の役割分担不断の見直しを行うこと。⑤職員は常に公正公平な態度で、また、窓口対応にも真摯な姿勢で執務すること。⑥教育先進都市北区を掲げているからには30人等小人数学級に前向きな姿勢で真剣に取り組むこと。⑦自転車専用道の整備、駐輪場、移設場所の増設、無灯火自転車対策等、安全対策に取り組むこと。⑧学校図書庫の活用を推進等で豊かな教育を旨とする。

### あすか新生議員団

平成19年度は子育て福祉の贈呈、特別支援教育のスタート、中央図書館建設、赤羽エコー広場開設、福祉施設の整備等の取組みを評価する。会派として意見要望を述べた以下の点に、今後、充分留意してほしい。  
①公平、公正、競争性を高める入札制度の実施。②後期高齢者医療制度の問題点を集約し広域連合や国に対する早急な改善の働きかけ。③介護のマンパワー確保は喫緊の問題であり、検証を含めた迅速な対応。④全国的にモデルについて厳しい目が向けられている教育委員会、学校関係者の、より一層、慎重な行動。特別支援教育は障害児の放課後、夏休みの居場所づくり等の支援の充実。  
以上により、一般会計及び特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

### 北区・区民クラブ

「区民とともに」の基本姿勢のもと、4つの重点戦略を中心に、限りある資源を各分野にきめ細かく配分し、区政推進に努めたこと、各種基金の積立てや決算剰余金を財政調整基金へ繰り入れたことを評価する。  
高齢化への対応、地域の安全・安心、環境への取組み、健康づくり、子育て支援、学力向上の取組み、パリアフリー化等一層の推進を求める。以上により、一般会計及び特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

### 新社会党議員団

決算特別委員会委員でないため決算に対する意見表明はしていないが、介護保険会計に反対し、一般会計及び特別会計の決算認定に賛成する。

### 決算特別委員会委員 22名

- 黒田みち子 ○宮島 修
- 石川 清 稲垣 浩
- 榎本はじめ 大島 実
- 小関 和幸 上川 晃
- 木元 大一 戸枝 大幸
- 中川 良一 花見 隆
- 林 千春 樋口 万丈
- 福島 宏紀 福田 伸樹
- 安田 勝彦 山崎 直人
- 山崎たい子 山崎 浩
- 山田加奈子 渡辺かつひろ

### 次回定例会のお知らせ

平成20年第4回定例会の日程は、北区ホームページで案内されます。また、区民事務所、地域振興室、町会・自治会掲示板に区議会のお知らせを掲示します。本会議、各常任委員会、議会運営委員会はいずれも午前10時開会予定です。

### 議会放映を北ケーブルテレビでぜひご覧ください

第4回定例会本会議の代表質問の様子を北9チャンネルで録音放映します。  
放映予定日は北区ホームページでご覧いただけます。

### 議案及び資料等の閲覧ができます

議案及び委員会資料等については、区政資料室(第二庁舎1階、区議事務局 第二庁舎4階)で閲覧及びコピー(一枚白黒10円)することができます。

区議会だより編集委員会  
〒114-8508 北区王子本町1-15 22  
☎(3908) 9999  
☎(3908) 0000  
FAX(3908) 0000  
北区のホームページ  
(http://www.city.kita-kyoto.jp/)  
一「北区議会」からご覧いただけます。  
のびのびご利用ください。